

2025.10.01



便 利 帳

学生生活を応援するガイドブック

2025 年 10 月 1 日

東京音楽大学後援会

<https://www.tokyo-on dai.org>

東京音楽大学後援会（後援会）は、東京音楽大学で学ぶ学部生及び大学院生の保護者の会です。

後援会では、学生の皆さんより充実した大学・大学院生活を送れるよう、様々な支援制度を設け、活動を行っています。

この『便利帳』はそうした各種の支援制度や活動について、学生の皆さんだけでなく、後援会の会員である保護者の皆様に知っていただくとともに、それらを一層活用して頂くために作成したものです。

この『便利帳』が、皆さん的学生生活に、また、会員の皆様の後援会活動へのご理解に役立てば幸いです。

後援会会长

<お問い合わせ先>

学生の皆さん及びご父母の皆様からのご意見・お問い合わせ等は、ご遠慮なく以下までご連絡ください。

後援会事務局

〒153-8622 東京都目黒区上目黒 1-9-1 東京音楽大学
Tel 03-6455-2740

または、

後援会ホームページの「お問い合わせ」画面より
<https://www.tokyo-ondai.org/>

【注意】

この便利帳に記載されている支援・助成内容は 2025 年 10 月 1 日現在のものです。それぞれの制度の内容は都度見直しが行われますので、制度の利用にあたっては非通用に応じて最新の内容を後援会事務局または各制度の申請先に確認してください。

目次

| | |
|----------------------|-----------|
| 演奏会等支援制度 | 1 |
| 1. 助成趣旨 | 1 |
| 2. 対象演奏会 | 1 |
| 3. 助成内容 | 1 |
| 4. 申請～助成までの流れ | 2 |
| 5. 助成対象収支 | 3 |
| 音楽コンクール参加支援制度 | 4 |
| 1. 助成趣旨 | 4 |
| 2. 対象コンクール | 4 |
| 3. 助成内容 | 4 |
| 4. 申請手続き | 4 |
| キャリアアップ支援制度 | 5 |
| 1. 助成趣旨 | 5 |
| 2. 助成条件と助成内容 | 5 |
| 3. 助成対象資格試験・検定試験 | 5 |
| 4. 申請手続き | 5 |
| 助成対象資格 | 6~9 |
| 校友会演奏会参加支援制度 | 10 |
| 1. 助成趣旨 | 10 |
| 2. 対象演奏会 | 10 |
| 3. 助成内容 | 10 |
| 4. 申請手続き | 10 |
| その他の支援・助成 | 11 |
| 1. 図書整備費用 | 11 |
| 2. カウンセリング | 11 |
| 3. インフルエンザ予防接種 | 11 |
| 4. 非常食の備蓄・災害簡易トイレの配備 | 11 |
| 5. 教職課程合宿 | 11 |
| 6. 芸術祭助成 | 11 |
| 7. 弔慰金の支給 | 11 |

*巻末資料：各種申請書等

演奏会等支援制度

1. 助成趣旨

学生の皆さんにとって、練習の成果を発表できる演奏会は貴重なステージだと思います。しかし実際に演奏会を開催するとなれば、費用がかかります。この費用の負担を少しでも軽減し、皆さんの学内外での演奏会や発表会が増えていくことを願い、後援会では本制度によって資金面での支援をしています。

2. 助成対象演奏会

- 下記の3つの要件を全て満たす演奏会を支援します。

- ① 学生が企画するものであること

予算管理、会場の手配、当日の進行等演奏会の開催において学生がどのような役割を果たしたかを申請時に記載してください。

- ② 学生が出演する演奏会・発表会であること

本学学生（付属高校生、科目履修生、聴講生の人数を含む）がメンバー（出演者、ステージマネージャー等）の2/3以上を占めるもの。

- ③ 後援会が支援に値すると判断した演奏会

原則実際に開催され、ご家族や大学関係者等以外の一般の方にも公開された演奏会や発表会を支援します。やむを得ない事情（感染症の拡大の影響により中止となるなど）による会場のキャンセル料も支援します。①②の条件を満たす場合、配信での開催も対象とします。

- 芸術祭で行われる発表など後援会が別の仕組みで開催を支援しているもの、オーディション関連のもの、学外団体が主催し、学生が一部参加するもの、大学の授業の一貫として行われるものは対象としません。
- 従来門下生による発表会は対象外でしたが、①②③を満たすものであれば対象とします。門下生による発表会とは、同じ先生に師事する学生だけが出演者である発表会を指します。複数の先生の門下生が集まった学科や学部単位の発表会も引き続き対象となります。ただし、試演会やおさらい会等非公開のものは支援の対象外です。

3. 助成内容

- 助成金額は助成対象者の人数により決まる【①個別基準】で算出する金額と、学生が負担した金額を基に【②実績基準】で算出する金額のうち少ない方の額とします。

上限は100,000円です。

① 個別基準

出演者、監督及びステージマネージャー（1名）のうち、演奏会実施日に在学中の学部生又は大学院生で、助成を希望しており、年会申請回数が2回目以内の者を助成対象者とし、下記により算出する。

年間申請数は学生支援課で確認しますので、出演者名簿に○印を付し、その合計人数を申請書に記載すること（本人の同意を得られた者のみ○印を付すこと）。

●助成対象者8名以下の演奏会・発表会

基本助成額10,000円+1名あたりの助成額5,000円×人数

（ただし個人リサイタル等1名で演奏する場合は20,000円を支給します。）

●助成対象者が 9 名の演奏会・発表会

50,000 円

●助成対象者が 10 名以上の演奏会・発表会

基本助成額 30,000 円 + 1 名あたりの助成額 2,000 円 × 人数

※助成対象者が 8 名、9 名、10 名の場合、個別基準により算定される金額はいずれも 50,000 円となります。

(2) 個別基準

支出額により算定します。ただしその金額が 3,000 円に満たない場合は 3,000 円とします。100 円未満は切り捨てます。

●支出として計算されるもの

- ・ 会場費
- ・ プログラム、チラシ、チケット等の印刷費
- ・ 楽器等のレンタル代や運搬費
- ・ 通信費（プログラムやチラシの郵送費等）
- ・ 電子チケットの発行費用

※領収書等支払いを証明できる書類の提出が必要です。

※以下の経費は助成対象の支出として認められません。

- ・ 人件費（出演料、アルバイト代等）
- ・ 指導者への謝礼、作曲・編曲料、写譜料等
- ・ 飲食代（打ち上げの費用、弁当代、お茶代）
- ・ 楽譜代、衣装代、楽器代、録音音源の作成費（ただし会場に付帯する録音設備の借料は助成対象となります。）
- ・ プリンターやインクの購入費等個人の財産となるもの。

4. 申請～助成までの流れ

■申込手続**1. 申請から助成までの流れ**

① 演奏会や発表会の開催費年度の翌年度末までに学生支援課に下記を提出。

（例 2025 年度開催の場合は 2027 年 3 月末が提出期限）

- ・ 演奏会等助成金申請書及び承認書（様式 1）
- ・ 出演者名簿（様式 2）
- ・ 決算（様式 3）と領収書等のコピーを A4 用紙に貼付したもの
- ・ 演奏会のチラシ・プログラム
- ・ 口座番号が確認できるもの（通帳のコピー等）

② 後援会と学生支援課にて審査後、申請者の銀行口座に助成金を振り込みます。

*提出期限は開催日年度の翌年度末までとします。

（例：2025 年度開催の演奏会は 2027 年 3 月末が提出期限です。）

*メールでの申請も可能（送信先：学生支援課）

2. 後援会と学生支援課にて審査後、対象決定者に通知し助成金が支払われます（銀行振込）。

5. 助成対象収支

<収入>

審査対象にはいたしません。

<支出>

1. 会場費(ホール、付帯設備、調律等)
2. 印刷費(チラシ、プログラム、コピー代等)
3. 運搬費(楽器等運搬費)
4. 通信費(郵送費等)
5. レンタル楽器代

※ その他、必要最低限の合理的金額であることを条件とします。

*助成額計算の対象とならない項目

- ・ 人件費(出演料、アルバイト代、作曲・編曲料、写譜料等)
- ・ 飲食代(打ち上げ、弁当代等)
- ・ 個人の財となるもの(楽譜代、衣装代、楽器代、録音音源の作成代※等)

※会場附帯する録音設備借料は助成対象となります。

音楽コンクール参加支援制度

1. 助成趣旨

学生の皆さんにとって、日頃の練習の成果を試せる音楽コンクールへの挑戦は、貴重なキャリアアップの機会につながるものと思います。しかし、コンクールの参加には費用がかかります。この費用の負担を少しでも軽減し、皆さんの挑戦の機会が増えていくことを願い、後援会では本制度によって資金面の支援をしています。

2. 対象コンクール

以下の条件を満たす音楽コンクールの中で、後援会が支援に値すると判断したコンクールへの参加が助成対象となります。

1. コンクールの実施内容が確認できること。
2. コンクールの参加費が 10,000 円以上

3. 助成内容

1回のコンクールへの参加で、5,000 円分の QUO カード Pay（コンビニエンスストア等で利用可能）を助成します。助成は、年度内につき、1人1回です。

4. 申請手続き

所定用紙に必要事項を記入の上、コンクール開催後、募集要項のコピー、参加が証明できる書類（領収書や名前の掲載されたプログラム等）のコピーとともに学生支援課に提出してください。

音楽コンクール参加助成申請書（様式 4）⇒卷末資料

*提出期限は参加年度の翌年度末までとします。

（例：2025 年度参加の場合は 2027 年 3 月末までを提出期限とします。）

キャリアアップ支援制度

〈資格取得助成制度〉

1. 助成趣旨

将来、学生の皆さんが出で働く時、特定の資格や検定に合格していることや、語学スキルを判定するテスト（TOEIC）等で一定の成績を収めていることを示すことは、社会人としてのキャリアを積んでいくうえで重要な要素となることがあります。後援会ではこうしたキャリアアップにつながる各種資格や検定に合格した場合に、資金面での支援を行っています。

2. 助成条件と助成内容

- 下記3.に記載の助成対象資格試験のうち合否判定のある検定試験に合格した場合、その受験料の半額※をクオペイ（コンビニエンスストア等で利用可）で助成します。
※半額が千円未満の端数のある場合には、500円毎に切り上げた金額

〈例〉 合格した試験の受験料が3,800円であった場合

$$3,800\text{円} \times 1/2 = 1,900\text{円}$$

→ 助成額は2,000円（2,000円分のQUOカードPay）

- TOEIC、TOEFL、IELTS等の合否ではなくスコア制の検定に関しては、

1人当たり同一検定は年5,000円を上限とし、QUOカードPayで助成します。

助成金額の算定の根拠となる各資格試験・検定試験の受験料は、各自支払った受験料の領収書を基準とします。

3. 助成対象資格試験・検定試験

- 以下の4分野の資格試験・検定試験が助成の対象となります。
 - (1) 音楽関係 : Page 5に記載のもの
 - (2) 語学 : Page 6に記載のもの
 - (3) 実務検定 : Page 7に記載のもの
 - (4) 国家試験・国家資格 : 原則として全て該当 Page 8に例示として記載(1)～(4)に記載のない資格試験・検定試験については、キャリア支援センターまでお問い合わせください。後援会で助成の対象とするかどうかを決定して、後日お知らせします。

※ 但し、以下のような資格は対象となりませんのでご留意ください。

- a) 教員免許、運転免許
- b) 試験ではなく特別教育や技能講習を受けることにより取得できる資格
- c) その他後援会が対象外と判断したもの

4. 申請手続き

所定用紙に必要事項を記入の上、学生証、上記助成条件を満たすことを証明する書類（合格証・受験料の領収書もしくは受験料の支払を証明する書類）の原本とともにキャリア支援センターの窓口に提出してください。書類の原本は確認後返却します。

申請先は代官山・中目黒キャンパスのみです。資格取得助成金申請書（様式5）⇒卷末資料

*提出期限は資格取得年度の翌年度末までとします。

（例：2025年度取得の場合は2027年3月末を提出期限とします。）

助成対象資格

1. 音楽関係

| | | | 級 | 備考 |
|---------------------------------------|-------------|--|----------------------------|---------------------------------------|
| ヤマハ 何級からでも受験可能 | 演奏グレード | ピアノ | 2級 3級 4級 5級 | 演奏家や、演奏家を目指す方 音楽の指導者・専門家や、それらを目指す方 |
| | | エレクトーン | 2級 3級 4級 5級 | 演奏家や、演奏家を目指す方 音楽の指導者・専門家や、それらを目指す方 |
| | | 管楽器 (FL, SAX, TP, CL) | 3級 4級 5級 | 音楽の指導者・専門家や、それらを目指す方 |
| | | クラシックギター | 3級 4級 5級 | 音楽の指導者・専門家や、それらを目指す方 |
| | | 指導グレード | 3級 4級 5級 | 音楽の指導者・専門家や、それらを目指す方 |
| | | ピアノ グレードテスト / ポピュラー ピアノグレードテスト | | |
| カワイ 他のテストで同級を合格済みなど以外は飛び級受験は出来ません。 | ※ 演奏グレード | | 2級 3級 4級 5級 6級 | 演奏家、演奏家を目指す方 |
| | | 指導グレード | 3級 4級 5級 6級 | 指導者、指導者を目指す方 |
| | | ドリマトーン グレードテスト | | |
| | | ※ 演奏グレード | 2級 3級 4級 5級 6級 | 演奏家、演奏家を目指す方 |
| | | 指導グレード | 3級 4級 5級 6級 | 指導者、指導者を目指す方 |
| | | 音楽教育 グレードテスト | | |
| | | 実技 音楽活動 | 3級 4級 5級 6級 | |
| | | 実技 リトミック | 3級 4級 5級 6級 | |
| | | 筆記 | 3級 4級 5級 6級 | |
| | | ※の3種類のグレードテスト(ピアノ・ポピュラーピアノ・ドリマトーン)では、演奏グレードテストと指導グレードテストを同時に受験して同時に両方のテストに合格した場合は、指導グレード認定証のみが発行されます。 同時に受験の場合には、同時に受験したこと示すもの(両方のテストの受験料の「払い込み受領証」、あるいは、同時に受験したこと示すもの)を提示してください。 | | |

助成対象資格

2. 語学

| | | 級 | 備考 |
|----|--|---|---|
| 英語 | TOEIC 公開 Test (S&W) | | |
| | (L&R) | | L&Rのみリピート受験割引サービス制度有り |
| | (S) | | |
| | TOEIC Bridge 公開 Test | | |
| | TOEIC IPTTest (団体受験) | | 団体特別制度 |
| | TOEIC Bridge IPTTest (団体受験) | | 団体特別制度 |
| | TOEFL iBT | | |
| | TOEFL Essentials | | スコア制検定のため上限 5,000 円の助成 (受験料は米ドルで支払い) |
| | 実用英語技能検定 | 1 級 準 1 級 2 級 準 2 級 3 級 | 大学卒業 大学中級 高校卒業 高校中級 中学卒業 |
| | IELTS | | スコア制検定のため上限 5,000 円の助成 |
| 他 | 国連英検 | 特 A 級 A 級 B 級 C 級 D 級 E 級 | プロフェッショナルレベル 日常生活で自由に意思を伝えられる 高校終了 高校 1、2 年 中学終了 |
| | ドイツ語検定 右はドイツ語技能検定であるが、Goethe-Zertifikat も助成対象 | 1 級 準 1 級 2 級 3 級 4 級 5 級 | ドイツ語を不自由なく使え、専門的な文章も理解 ドイツ語圏の国で生活に対応できる標準的なドイツ語 文法や語彙についての十分な知識、日常会話や社会生活 ドイツ語の初級文法全般、簡単な会話や文章が理解 基礎的なドイツ語を理解し、初步的な文法規則を使える 初步的なドイツ語を理解し、日常生活での簡単な表現 |
| | フランス語検定 右は実用フランス語技能検定であるが、TCF, TEF, DELF/DALF も助成対象 | 1 級 準 1 級 2 級 準 2 級 3 級 4 級 5 級 | 高度なフランス語を実地に役立てる職業で即戦力 社会生活に加え、多様な分野でのフランス語を理解 日常生活や社会生活を営む上で必要なフランス語を理解 日常生活における平易なフランス語を理解 フランス語の文構成についての基本的な学習を一通り終了 基礎的な日常的なフランス語を理解 初步的な日常的なフランス語を理解 |
| | イタリア語検定 右は実用イタリア語検定であるが、PLIDA, CILS も助成対象 | 1 級 2 級 準 2 級 3 級 4 級 5 級 | 広く社会生活中必要なイタリア語を十分に理解、表現 大学卒業：日常生活や業務上必要なイタリア語を理解 基本文法の総合的な知識、日常生活全般を理解 大学 2 年：日常生活に必要な基本的なイタリア語を理解 平易なイタリア語を聞き・話し・読み・書く 初步的なイタリア語を理解 |
| | スペイン語検定 右は DELE(スペイン教育・職業訓練省) であるが、スペイン語技能検定も助成対象 | C2 C1 B2 B1 A2 A1 | 全ての情報を理解し、スペイン語の多様性などを認識 幅広い分野の文章や会話を展開、自在に言語を操る 複雑な内容や抽象的なテーマ、既知の専門的内容を理解 日常での身近な事柄や学習・仕事に関する内容を理解 日常で身近な表現など簡単な日常の事柄に関して理解 即時に必要な、生活でよく使われる表現を理解 |
| | ロシア語検定 右はロシア語能力検定であるが、ロシア語検定試験も助成対象 | 1 級 2 級 3 級 4 級 | ネイティブスピーカーによる話、専門的内容の理解 日常生活に必要な会話、説明、通訳 挨拶や応対、簡単な日常会話 決まった表現や文を使って挨拶や簡単な会話 |
| | 中国語検定 右は中国語検定であるが、BCT, TECC, HSK も助成対象 | 1 級 準 1 級 2 級 3 級 4 級 準 4 級 | ビジネスに利用可能 会話、旅行 基本的な単語、文法が理解 |
| | 他 ハングル語(韓国語能力試験(TOPIK)など) ポルトガル語 等 | | |

助成対象資格

3. 実務検定

| | 級 | 備考 |
|---|--|---|
| 漢字能力検定 | 1級 | 大学・一般 |
| | 準1級 | 大学・一般 |
| | 2級 | 高校卒業・大学・一般 |
| | 準2級 | 高校在学 |
| | 3級 | 中学卒業 |
| 秘書技能検定 | 1、準1、2、3級 | |
| P検・パソコン検定 | 1、準1、2、準2、3、4、準4、5級 | |
| マイクロソフト Office Specialist(MOS) | スペシャリスト | 一般 (Office SW 各種 2013,2016,2019,365) |
| | エキスパート | 上級 (Office SW 各種 2013,2016,2019,365) |
| 日商簿記検定 | 1、2、3級、簿記初級、原価計算初級 | |
| JAVA プログラミング能力認定 | 1、2、3級 | |
| CGクリエイター検定 | エキスパート、ベーシック | |
| Web クリエイター能力認定試験 | エキスパート、スタンダード | |
| HTML5 プロフェッショナル認定資格 | Level 1、2 | |
| Photoshop クリエイター能力認定試験 | エキスパート、スタンダード | |
| Illustrator クリエイター能力認定試験 | エキスパート、スタンダード | |
| アドビ認定プロフェッショナル | Photoshop、Illustrator、Premier Pro Content Creation and Marketing using Adobe Express | |
| フラワーデザイナー資格検定 (NFD：日本フラワーデザイナー協会) | 1級学科 | 受験資格として、NFD 講師もしくは NFD 公認 校から受験日の2か月前までに受験に必要な履 修単位を認定してもらう必要があります。 |
| | 1級実技 | |
| | 2級学科 | |
| | 2級実技 | |
| | 3級学科 | |
| | 3級実技 | |
| デジタル色彩士検定 | 1級 | 2級合格者 |
| | 2級 | 3級合格者 |
| | 3級 | 一般 (パソコン操作ができる方) |
| | 公認指導者 | 1級合格者 |
| 医療福祉検定 | 1級 | 大学生・社会人 |
| | 2級 | 大学生・社会人 |
| | 3級 | 高校生・大学生・社会人 |
| | 4級 | 高校生・中学生 |
| 診療報酬請求事務能力検定試験 | 医科 | 学科、実技 |
| | 歯科 | 学科、実技 |
| 日本商工会議所の上記以外の検定 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> • 日商PC 検定 • 販売士検定 • 日商ビジネス英語検定 • DC プランナー(企業年金総合プランナー)検定 • ビジネスキーボード検定 • キータッチ 2000 検定 • 日商マスター検定 • 珠算検定 • 電子メール活用能力検定 • 電子会計実務検定 • EC 電子商取引実践能力検定 | | |
| その他 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> • ABC 協会認定フライダルプランナー検定 • 医療事務技能審査(メディカルクラーク) • 硬筆・毛筆書写技能検定 • 日本語検定 • 美術検定 • 基本情報技術者試験 • IT パスポート試験 • 知的財産管理技能検定 • ビジネス著作権検定 • 東商 カラーコーディネーター検定 • インテリアコーディネータ (一次のみ、2次のみも可) • 色彩検定 (1、2、3、UC級) | | |

助成対象資格

4.国家試験・国家資格

| | | 備考 |
|-------|-----------|-------------------|
| 法律 | 司法書士 | |
| | 行政書士 | |
| | 弁護士 | |
| 会計・経営 | 公認会計士 | |
| | 税理士 | 1 科目毎の助成が認められます |
| | 中小企業診断士 | 1 次 2 次 |
| | 社会保険労務士 | |
| | FP 技能検定試験 | 1 級 2 級 3 級 |
| | 宅地建物取引士 | |
| | 不動産鑑定士 | |
| | 土地家屋調査士 | |
| | マンション管理士 | |
| | 管理業務主任者 | |
| IT・情報 | 情報処理技術者試験 | IT パスポート試験等 |
| 福祉 | 保育士 | |
| 総務省関係 | 危険物取扱者 | 甲種 |
| | | 乙種 |
| | | 丙種 |
| その他 | | |

校友会演奏会参加支援制度

1. 助成趣旨

学生の皆さんが全国の校友会（卒業生OB会）各支部主催の演奏会に出演させていただくことは、各地の活動や交流の上で大変貴重な経験となると考えます。しかし地域での参加には費用がかかります。この費用の負担を少しでも軽減し、皆さんの積極的な参加につながることを願い、後援会では本制度により資金面での支援をしています。

2. 対象演奏会

全国校友会各支部主催の演奏会

3. 助成内容

1回の校友会演奏会参加で、5,000円分の QUO カード Pay（コンビニエンスストアなどで利用可）を助成します。助成は年度内につき1人1回です。卒業年の4月までの演奏会について助成します。

4. 申請手続き

所定用紙に必要事項を記入の上、校友会演奏会開催後、名前の記載されたプログラムなど、出演が証明される書類のコピーとともに学生支援課に提出して下さい。

校友会演奏会参加助成申請書（様式6）⇒巻末資料

※ 但し、11名以上の在学生が1演奏会に参加する場合、後援会にて助成の対象とするかをどうかを審議してお知らせします。

*提出期限は参加年度の翌年度末までとします。

（例：2025年度参加の場合は2027年3月末を提出期限とします。）

その他の支援・助成

以下にその他後援会で実施している支援・助成を簡単に紹介します。

1. 図書整備費用

大学付属図書館における書籍、楽譜、CD、DVD 等の購入費を助成しています。

2. カウンセリング

学生の心の健康を守るため、カウンセリングの費用を助成しています。

3. インフルエンザ予防接種

インフルエンザの予防接種費用の助成（1人 2000 円）を行っています。（指定医療機関での特定期間内の接種に限りますのでご留意ください）

4. 各種合宿、研修旅行の助成

夏合宿参加費用や海外研修旅行参加費用の一部を支援しています。

5. 芸術祭助成

大学学生自治会主催芸術祭（学園祭）に対し、運営費の一部助成を行っています。

6.弔慰金の支給

学生の父母等のご不幸があった場合、弔慰金を支給しています。中目黒・代官山キャンパス1階事務室カウンターまでご連絡ください。

7. 入学お祝い品、卒業記念品の贈呈

新入生には入学お祝い品、卒業生には卒業記念品と卒業証書ホルダーを贈呈しています。

卷末資料

- ・演奏会等助成金申請書及び承認書（様式 1）
- ・演奏会等助成金申請書／出演者名簿（様式 2）
- ・演奏会等助成金申請書／決算書（様式 3）
- ・記入例 I
- ・記入例 II
- ・音楽コンクール参加助成申請書（様式 4）
- ・資格取得助成金申請書（様式 5）
- ・校友会演奏会参加助成申請書（様式 6）

*後援会 HP よりダウンロードもしくは学生支援課、キャリア支援センターにても受け取ることができます。

TCM

東京音楽大学後援会
便利帳

<https://www.tokyo-ondai.org/>



2025年10月1日